



Coca-Cola zero® 2009  
**Suzuka 8 hours**



2009 QTEL FIM世界耐久選手権シリーズ第4戦  
**“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース**  
**第32回大会**

MEDIA INFORMATION 2009.4.18



7.23 THU → 26 SUN 決勝



バイク好きはみんな集まれ!  
 バイク乗りが楽しむイベント  
 「MOTO MAX」も同時開催



**www.8tai.com**   
 鈴鹿8耐の最新情報はここでチェック!



2009 QTEL FIM Endurance World Championship Round 4  
 The 32nd "Coca-Cola Zero" Suzuka 8 hours Endurance Road Race

SUZUKA CIRCUIT  
 7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan  
 Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR



## I N D E X

はじめに.....	1
開催概要 .....	2
RACE HIGHLIGHT .....	3~4
SPECIAL TOPICS .....	5~12
MOTO MAX.....	13~16
SPECIAL EVENT.....	17
AREA INFORMATION .....	18~20
チケット .....	21~23
お問い合わせ .....	24
アクセス .....	25
8tai.com.....	26



2009 QTEL FIM Endurance World Championship Round 4  
The 32nd "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours Endurance Road Race

SUZUKA CIRCUIT  
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan  
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR



## はじめに

# LOVE BIKE, LOVE LIFE

## ～「日本一のバイクの祭典」鈴鹿8耐へようこそ!!

無名だったワイン・ガードナーが、いきなりポールポジションを獲得しスターダムにのしあがる。ケニー・ロバーツを擁し優勝を確信したチームがチェッカーわずか30分前にまさかのリタイア。記念すべき第30回大会にて、第1回大会の覇者ヨシムラが悲願の27年ぶりの優勝を達成。

勝者にも、敗者にも。

ワークスチームにも、プライベートチームにも。

ライダーにも、観客にも。

今年、32回目の夏を迎える8耐は毎年、新たなドラマを生み出し続けています。

ライダーにとっての一大夏祭りとなった8耐は、レースだけではなく「日本最大のバイクの祭典」として成長を遂げ、今も鈴鹿を訪れるバイクファンを魅了し続けています。

それぞれにとっての8耐のドラマは、夏の暑さ・感動の熱さと共に永遠に記憶に刻み込まれることでしょう。

今年はスタンド・ピット・パドックも過去最大のリニューアルを行なった鈴鹿サーキット。その新たなステージを舞台に、今年も8耐は、夏のドラマ・感動を共有できる「特別な場所」として、全ての人たちにお楽しみ頂けることを、私たちは目指します。

この夏、“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐で、ぜひ新たな鈴鹿サーキットを体感してください。みなさまの来場を心よりお待ちしております。



2009 QTEL FIM Endurance World Championship Round 4  
The 32nd "Coca-Cola Zero" Suzuka 8 hours Endurance Road Race

SUZUKA CIRCUIT  
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan  
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR



# “コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐開催概要

- (1) 大会名称 2009 QTEL FIM世界耐久選手権シリーズ第4戦  
 “コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 第32回大会  
 (英文表記) 2009 QTEL FIM Endurance World Championship Round 4  
 The 32nd “Coca-Cola Zero” Suzuka 8hours Endurance Road Race
- 併催 2009 鈴鹿・近畿選手権シリーズ第5戦  
 鈴鹿4時間耐久ロードレース(ST600)
- (2) 主催 財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)  
 株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット
- (3) 協力 テレビ朝日
- (4) 後援 文部科学省、鈴鹿市観光協会、鈴鹿商工会議所
- (5) 大会冠協賛 コカ・コーラ ゼロ
- (6) テレビ放送(予定) スカパー!、スカパー!e2 (ノーカット完全生中継を予定)
- (7) 会場 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(1周/5.821km)  
 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL:059-378-1111(代)
- (8) 開催日程 2009年 7月23日(木)～7月26日(日)

7月 23日(木)	特別スポーツ走行/公式練習
24日(金)	公式予選
25日(土)	決勝出場チーム フリー走行
	スペシャル・ステージ「トップ10トライアル」(公式予選) “コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐前夜祭
26日(日)	“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 決勝 11:30スタート/19:30ゴール

## ●鈴鹿4時間耐久ロードレース スケジュール

7月 23日(木)	特別スポーツ走行
24日(金)	公式予選
25日(土)	鈴鹿4時間耐久ロードレース 決勝
	8:30スタート/12:30ゴール

※スケジュールは変更になる場合があります。



2009 QTEL FIM Endurance World Championship Round 4  
The 32nd "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours Endurance Road Race

SUZUKA CIRCUIT  
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan  
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR



RACE HIGHLIGHT.1

# レーシングライダーとしてのプライドをかけて、 今年もまた歴戦の勇者が鈴鹿に集う 第32回“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース

## 世界耐久選手権シリーズで輝きを放つ 鈴鹿8耐の存在感

今年で第32回大会を迎える“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース。今年、FIM世界耐久選手権シリーズの第4戦として7月26日(日)に決勝レースが開催される。

このFIM世界耐久選手権シリーズは今年、4月18日のフランス／ル・マン24時間で開幕し、5月31日の第2戦ドイツ／オシャーズレーベン8時間耐久、7月4日の第3戦スペイン／アルバセテ8時間、そして第4戦鈴鹿ラウンドを経て、9月12日の第5戦フランス／ボルドール24時間、11月14日の第6戦(最終戦)カタール／ドーハ8時間の全6戦でチャンピオンシップが争われる。

耐久レースの王道とも言えるのは、ル・マンとボルドールのフランスで開催される2つの24時間レースだ。スプリントレースとは異なり、瞬間的な速さだけではなく、変化する気象条件と路面状態を先読みする力、体力と集中力を維持する力、マシンの性能などをコンスタントにキープすることが耐久レースを制するセオリーである。

そしてこの長い歴史を持つル・マン24時間とボルドール24時間に対して、全く別の耐久レースを創造し、世界トップのGPライダー達を魅了し続けたのが“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレースだ。レースは昼間がメインとなり時間も8時間と短い。しかし、24時間レース以上に攻略が難しい大会として異彩を放ち続けてきた。



2008年の鈴鹿8耐スタート

## さまざまな歴史を刻んだ 世界屈指のレース

1978年に第1回大会が行われた鈴鹿8時間耐久ロードレースは、そのオープニングレースから大波乱であり、その後の鈴鹿8耐を象徴するものとなった。

当時、耐久選手権で常勝を誇ったHondaのワークスマシンRCB軍団を、コンストラクターのヨシムラが撃ち破り優勝を遂げたのだ。この瞬間、鈴鹿8耐はワークスvsコンストラクターの色合いを濃くしたが、続いてモリワキから出場したワイン・ガードナーが素晴らしい活躍を見せると、その活躍が認められHondaのワークスライダーとして世界GP500ヘデビューするなど鈴鹿8耐は世界GPへの登竜門という世界が注目する華々しい舞台へとなっていた。

その後、このガードナーをはじめケニー・ロバーツ、フレディ・スペンサー、平忠彦、ミック・ドゥーハン、ケビン・シュワーツ、バレンティーノ・ロッシなど、時代の寵児とも言うべきスターライダーが続々と鈴鹿8耐制覇のために鈴鹿を目指した。同時に、鈴鹿8耐のアベレージタイムは急激に上昇。鈴鹿8耐を制するためには、ル・マンやボルドールの24時間レースを制するために必要な「耐久レースのアベレージスピード」ではなく、スプリントレースと同等なスピードを極めて高い次元で維持できるかが重要な要素となり、「スプリント耐久」の造語が生まれたのである。

その一方で鈴鹿8耐の注目が高まるに連れ、各チームは世界で活躍するトップライダーを起用するようになり、日本人ライダーペアによる8耐制覇は長い間、果たされることがなかった。台風によりレースが6時間に短縮された1982年(第5回大会)の飯嶋茂男・萩原紳治ペアの優勝以来遠ざかってしまった、悲願の日本人ペアの優勝を果たしたのが、1997年の伊藤真一と宇川徹ペアだ。

伊藤はこの年、現役引退を胸に秘めていたが、この鈴鹿8耐での優勝を契機に現役続行を決意。現在も全日本JSB1000で活躍する伊藤がつけるゼッケン33は、このときの鈴鹿8耐でのゼッケンなのである。また、宇川はこの優勝をきっかけに、鈴鹿8耐最多となる5勝を記録。ガードナーの4勝を塗り替え、2005年に新ミスター鈴鹿8耐の称号を手にしたのである。

その後もHondaの緻密な戦略による6回ピット作戦や前人未到の11連勝、世界耐久選手権シリーズにフル参戦して日本人初の世界耐久王者となったスズキの北川圭一の凱旋レース、10年の時を経て再結成されたヤマハの1996年優勝コンビのコーリン・エドワーズと芳賀紀行ペア、2007年は第1回大会を制したチームであるヨシムラによる第3回大会以来の優勝など、鈴鹿8耐は常に時代を反映するレースとして人気を博してきた。



## RACE HIGHLIGHT.2

### 前哨戦の鈴鹿300km耐久ロードレース

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐に先がけて行われるのが、6月14日(日)に決勝レースを迎える“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレースだ。

スタートにはル・マン式を採用。ライダーも1チーム2名まで登録可能、さらにレース途中で給油やタイヤ交換が行われ、マシンレギュレーションも鈴鹿8耐と共通性を持たせている。

白熱のレース展開はもちろん見どころの一つだが、鈴鹿8耐を想定した各チームの実戦シミュレーションも見逃せない。本来、堅実な戦略をとるはずのトップチームがアグレッシブな戦略をとることも珍しくない。過去にはマシンの燃料消費の限界を確認するためにガス欠ストップを覚悟に連続走行を続けるなど、全日本選手権などでは見ることのできない予想外の展開が、“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレースの魅力の一つでもあるのだ。

また、レースウィークでは、今年の鈴鹿8耐に参戦するチーム発表会が行われるのが通例で、こちらも高い注目度を集めている。



2008鈴鹿300km耐久ロードレース・表彰台



2008鈴鹿300km耐久ロードレース・鈴鹿8耐記者発表会で健闘を誓う

#### Road to SUZUKA 8hours

4/18-19

全日本ロードレース選手権第2戦  
ケーヒン 鈴鹿2&4レース

6/13-14

“Road to 8hours”  
鈴鹿300km耐久ロードレース

7/1-2

鈴鹿8耐公開テストデー

7/23-26

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐

